

## 第7期中期経営計画

令和8年度～令和10年度

人口減少、高齢化に伴い国内市場の縮小や労働力不足の常態化が懸念される中、物価高騰の長期化や新たな地政学リスクの顕在化など、中小企業・小規模企業（以下「中小企業等」）の課題は多様化し、不確実性も高まっています。

こうした状況を踏まえ、公益財団法人神奈川産業振興センター（KIP）は、以下に掲げる取組方針及び施策の方向性に基づき、中小企業等に対する総合支援を展開し、県内産業の振興に寄与します。

### I 取組方針

#### 1 成長やチャレンジを続ける中小企業等の支援

県内産業の振興を図る上で、中小企業等の成長は不可欠です。成長やチャレンジを続ける中小企業等の支援を基本スタンスとして、各事業に取り組みます。

#### 2 事業者の目線に立った実効性のある支援

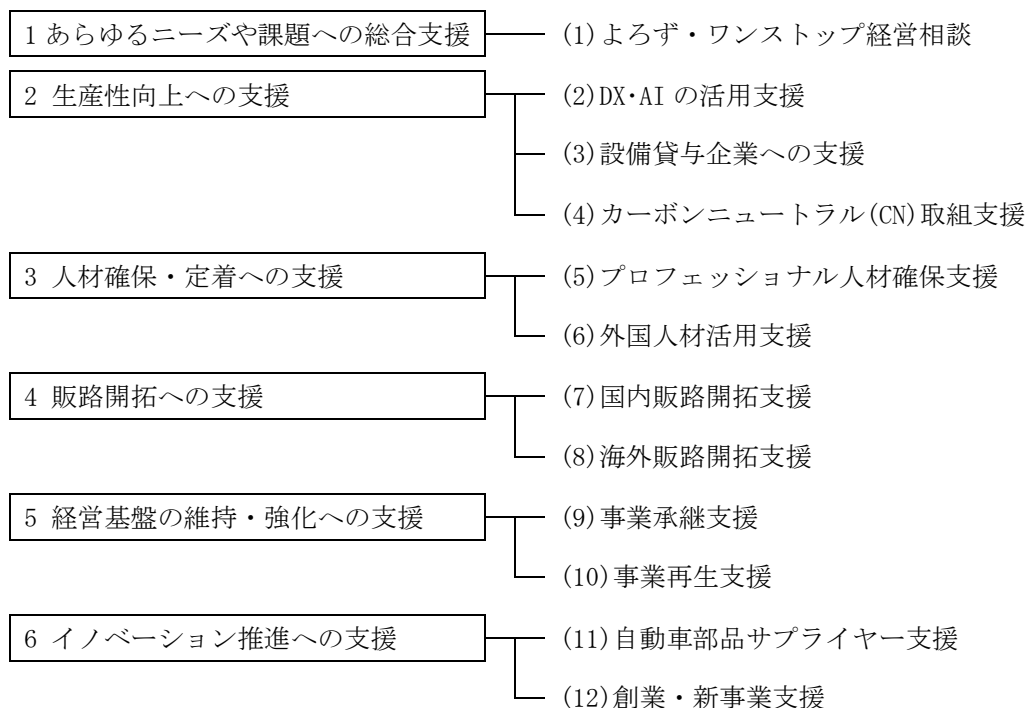
中小企業等の成長やチャレンジを後押しするため、行政や支援機関等と緊密な連携を図りながら、中小企業等に寄り添った支援を行います。また、把握したニーズや課題を基に支援の強化を図るとともに、行政に対し施策の改善や新規事業を提案するなど、事業者の目線に立った実効性のある支援の実現に取り組みます。

#### 3 将来を見据えた持続可能な財団運営

外部環境の変化に柔軟に対応しながら、中小企業等に対する安定的で継続的な支援を実施するため、将来を見据えた持続可能な財団運営を目指します。その実現に向け、財務基盤の安定化を図るとともに、人材の確保や育成、デジタル技術を活用した業務効率化など、組織力向上に取り組みます。

## II 施策の方向性

6つの施策を柱として具体的な支援事業を展開していきます。



### 1 あらゆるニーズや課題への総合支援

よろず・ワンストップ相談窓口を中心に、中小企業等のニーズや課題を的確に把握し、KIP が有する多様な支援機能と他の支援機関との連携により、あらゆるニーズ・課題への総合支援を行います。

#### (1) よろず・ワンストップ経営相談

中小企業等のニーズへの対応や課題の解決に向け、職員、各種専門家、よろず・ワンストップ相談窓口のコーディネーターにより、ワンストップで最適な支援を行います。

目標／年度	令和7年度 (見込)	令和8年度	令和9年度	令和10年度
相談対応件数 (件)	19,000	19,100	19,200	19,300

### 2 生産性向上への支援

中小企業等の持続的な成長の基盤となる生産性向上に向け、DX・AI の活用による業務プロセスの改善や設備の導入、CO<sub>2</sub>削減への対応など、成長と経営の安定化に資するきめ細かな支援を行います。

### (1) DX・AIの活用支援

支援アドバイザーや「生産性向上支援センター」を通じて、企業ごとの業務プロセスの課題を特定し、改善を提案するなど、中小企業等における現場の課題に合わせた業務効率化、自動化・省力化、デジタル化、AI活用の伴走支援を行います。

目標／年度	令和7年度 (見込)	令和8年度	令和9年度	令和10年度
相談対応件数(件)	450	500	550	600

### (2) 設備貸与企業への支援

設備貸与制度を活用した設備導入支援に加え、設備導入後においても、定期的な訪問を通じて生産性向上に向けたサポートを継続するなど、経営改善を進めるための支援を行います。

目標／年度	令和7年度 (見込)	令和8年度	令和9年度	令和10年度
設備貸与継続支援企業数(社)	37	40	45	50

### (3) カーボンニュートラル(CN)取組支援

CO<sub>2</sub>削減計画の策定から対策の実行まで、各ステップに応じた継続的な支援を行います。また、この取組を契機として、新技術導入や業務プロセスの改善、自動化・デジタル化への加速など生産性向上の取組を促し、中小企業等の持続的な成長を後押しします。

目標／年度	令和7年度 (見込)	令和8年度	令和9年度	令和10年度
相談対応件数(件)	800	850	900	950

## 3 人材確保・定着への支援

中小企業等の成長の源泉である人材の確保・定着に向け、プロフェッショナル人材の活用支援を進めるとともに、外国人材の受入れ・定着に向けた伴走支援に取り組みます。

### (1) プロフェッショナル人材確保支援

中小企業等のニーズを踏まえた人材マッチングを通じ、専門的な知識や高度なノウハウを有するプロフェッショナル人材の活用を促

進めます。

目標／年度	令和7年度 (見込)	令和8年度	令和9年度	令和10年度
プロ人材紹介件数(件)	240	270	300	330

## (2) 外国人材活用支援

相談からマッチング、インターンシップ、採用、職場定着まで一貫した伴走支援を行い、中小企業等のニーズを踏まえた外国人材の活用を促進します。

目標／年度	令和7年度 (見込)	令和8年度	令和9年度	令和10年度
外国人材紹介件数(件)	110	145	155	165

## 4 販路開拓への支援

中小企業等の国内外における販路拡大に向け、取引あっせん、展示会・商談会への出展支援、海外展開に資する情報提供など、多様な販路開拓を支援します。

### (1) 国内販路開拓支援

受発注取引の個別あっせん、県内及び他県連携の広域商談会を開催するなど、多様なマッチング機会を創出します。また、各種商談会、展示会の主催、展示会ブースの確保支援に取り組むなど、国内における販路拡大を支援します。

目標／年度	令和7年度 (見込)	令和8年度	令和9年度	令和10年度
国内商談件数(件)	18,100	18,300	18,400	18,500

### (2) 海外販路開拓支援

海外展示会・商談会への共同出展、海外展示会出展費用の助成に取り組むなど海外における販路拡大を支援します。

目標／年度	令和7年度 (見込)	令和8年度	令和9年度	令和10年度
海外商談件数(件)	1,000	1,050	1,100	1,150

## 5 経営基盤の維持・強化への支援

中小企業等の経営基盤の維持・強化に向け、事業承継と事業再生の支援に取り組みます。

### (1) 事業承継支援

「神奈川県事業承継ネットワーク」との連携強化により事業承継・引継ぎニーズの掘り起しに取り組み、相談や専門家派遣、マッチングなどの支援につなげることで、事業承継の促進を図ります。

目標／年度	令和7年度 (見込)	令和8年度	令和9年度	令和10年度
事業承継相談件数(件)	500	530	560	600

### (2) 事業再生支援

早期相談及び早期決断の重要性について周知を図るとともに、相談業務により企業の経営状況を的確に把握した上で、「収益力改善・経営改善支援」、「事業再生支援」、「再チャレンジ支援」、「支援実施後の伴走支援」を実施し、事業再生支援に取り組みます。

目標／年度	令和7年度 (見込)	令和8年度	令和9年度	令和10年度
事業再生相談件数(件)	450	500	550	600

## 6 イノベーション推進への支援

県内産業や地域経済の活性化に向け、創業や新事業、事業転換に取り組む中小企業等を支援します。

### (1) 自動車部品サプライヤー支援

中堅・中小自動車部品サプライヤーを対象に、電動化、自動運転等のCASE対応や米国関税措置等に伴う諸課題への対応に向け、新たな販路開拓や新分野進出に関する支援を行います。

目標／年度	令和7年度 (見込)	令和8年度	令和9年度	令和10年度
企業支援件数(件)	190	270	300	330

## (2) 創業・新事業支援

ビジネスプランのブラッシュアップ、インキュベート施設の提供、マーケティング活動への支援等を一体的に実施し、創業や新事業の具体化・実現を支援します。

目標／年度	令和7年度 (見込)	令和8年度	令和9年度	令和10年度
創業支援件数（件）	910	950	990	1,030

## Ⅲ 取組手法・財団運営

### 1 連携強化の取組

外部環境の不確実性が高まり経営課題が複雑化する中、中小企業等が多様な支援策を効果的に活用できるよう、国、自治体、支援機関、金融機関との連携体制を構築・強化し、中小企業支援のハブ機関としての機能強化に取り組みます。

### 2 持続可能な財団運営への取組

中小企業等に対し安定的、継続的な支援を行うため、将来を見据えた持続可能な財団運営に取り組みます。

#### (1) 神奈川中小企業センタービルの適切な運営

中長期の財務シミュレーションを踏まえ、神奈川中小企業センタービルの適切な管理を通じて収益力の向上に努め、財団運営に必要な財源の確保を図ります。

#### (2) 職員が安心して働くための環境整備

仕事と家庭を両立できる職場環境を構築するとともに、メンタルヘルスを含む職員の健康づくりに取り組み、健康経営を積極的に推進します。併せて、DX・AIの活用による業務効率化にも取り組むなど、組織力の向上に努めます。

#### (3) 人材の確保とキャリア形成による職員の能力向上

財団運営に求められる人材像を明確化し、多様な人材を確保します。また、職員の定着と成長を支えるための各種研修やOJT、人事異動等を通じ、様々な成長機会を提供し、体系的なキャリア形成により職員の能力と意欲の向上を図ります。

#### (4) 事業者目線の支援力向上

積極的な企業訪問を通じて現場の課題を的確に把握し、事業者目線に立った支援力の向上に努めるとともに、課題解決を積み重ねることで、KIPの信頼性向上を図ります。

### IV 目標（指標）設定

#### 1 KGI（重要目標達成指標）

中小企業等の成長に向け、役職員が一丸となって各事業に取り組む中で、その成果を可視化するため、「KIP事業に対する企業の満足度」をKGIとして設定します。KGIは、相談対応、専門家派遣、セミナー、研修などの各事業について、事業満足度を点数化し90%とします。

#### 2 経営目標

6つの施策ごとに下位項目を掲げ、それぞれ以下に示す数値（3ヵ年累計）を経営目標とします。

項目		経営目標
<b>1 あらゆるニーズや課題への総合支援件数</b>		<b>57,600</b>
下位 項目	よろず・ワンストップ経営相談	57,600
<b>2 生産性向上への支援件数</b>		<b>4,485</b>
下位 項目	DX・AIの活用支援	1,650
	設備貸与企業への支援	135
	カーボンニュートラル(CN)取組支援	2,700
<b>3 人材確保・定着への支援件数</b>		<b>1,365</b>
下位 項目	プロフェッショナル人材の確保支援	900
	外国人材の活用支援	465
<b>4 販路開拓への支援件数</b>		<b>58,500</b>
下位 項目	国内販路開拓支援	55,200
	海外販路開拓支援	3,300

<b>5 経営基盤の維持・強化への支援件数</b>		<b>3,340</b>
下位 項目	事業承継支援	1,690
	事業再生支援	1,650
<b>6 イノベーション推進への支援件数</b>		<b>3,870</b>
下位 項目	自動車部品サプライヤー支援	900
	創業・新事業支援	2,970